

2022年度 日本大学 (2次)

【 講 評 】

本年が初実施となった全問記述式の2次試験は、60分で3題での出題であった。そのうち1題は小問集合で、残りの2題が設問のある大問であった。微分法・積分法(数Ⅲ)からの出題が中心で、難易度は以前のA方式の記述問題よりも全体的に易しくなり、分量もやや少なくなったと言える。場合の数・確率、整数の性質、図形といった、受験生が苦手とする分野が出題されなかったため、差がつきづらいことが予想される。7割以上の得点が必要となるだろう。

【 解 答 】

[I] 小問集合【易】

(1) (1-1) $f'(x) = 14(2x+5)^6$

(1-2) $f'(x) = 3\cos(3x+7)$

(1-3) $f'(x) = 4e^{4x+3}$

(1-4) $f'(x) = (2\log|5x+9|)' = \frac{10}{5x+9}$

(2) 解説参照

[II] 関数の性質/積分法(数Ⅲ)【やや易】

(1) $g(x) = \frac{1}{2}(x^2-3) \ (x \geq 0)$

(2) (3, 3)

(3) $9 - \sqrt{3}$

[III] 微分法(数Ⅲ) / 三角関数(数Ⅱ)【標準】

(1) $S(\theta) = \frac{\sin \theta \cos \theta}{2(1 + \cos \theta)}, \quad \cos \theta = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}$

(2) 最大値 $\frac{\sqrt{5}}{2}, \quad \cos \theta = -\frac{3}{5}$

お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>

【 問 題 】

[1] 以下の問いに答えなさい。

(1) つぎの関数 $f(x)$ の導関数を求めなさい。

(1-1) $f(x) = (2x+5)^7$

(1-2) $f(x) = \sin(3x+7)$

(1-3) $f(x) = e^{4x+3}$

(1-4) $f(x) = \log(5x+9)^2$

(2) 2次方程式 $x^2+x+1=0$ の2解を α, β とする。ただし、 $\alpha \neq \beta$ である。

自然数 $n (n=1, 2, \dots)$ に対して、 $f(n) = \alpha^n + \beta^n$ とおくと、 $f(n+2) + f(n+1) + f(n) = 0$ が成り立つことを証明しなさい。

[2] 関数 $y = \sqrt{2x+3}$ を考えて、その逆関数を $y = g(x)$ で表すとする。このとき、以下の問いに答えなさい。

(1) $g(x)$ を求めなさい。

(2) $y = \sqrt{2x+3}$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフの交点の座標を求めなさい。

(3) 2つの曲線 $y = \sqrt{2x+3}$, $y = g(x)$ および y 軸で囲まれる図形の面積を求めなさい。

[3] 原点 O の座標平面上に、 O を中心とする半径1の円と円周上の動点 $A(\cos\theta, \sin\theta)$ および定点 $B(-1, 0)$ がある。

このとき、以下の問いに答えなさい。

(1) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ のとき、線分 AB と y 軸との交点を C とする。三角形 OAC の面積を $S(\theta)$ で表すとき、 $S(\theta)$ を θ の関数として表し、 $S(\theta)$ が最大値をとるときの $\cos\theta$ の値を求めなさい。

(2) $0 < \theta < \pi$ のとき、点 $(0, -\frac{1}{2})$ と直線 AB との距離を d で表すとき、 d の最大値およびそのときの $\cos\theta$ の値を求めなさい。

【 解 説 】

[1]

(1)

$$(1-1) \quad f'(x) = 14(2x+5)^6$$

$$(1-2) \quad f'(x) = 3\cos(3x+7)$$

$$(1-3) \quad f'(x) = 4e^{4x+3}$$

$$(1-4) \quad f'(x) = (2\log|5x+9|)' = \frac{10}{5x+9}$$

(2) α, β は $x^2+x+1=0$ の解であるから

$$\alpha^2 + \alpha + 1 = 0 \quad \dots\dots\textcircled{1}, \quad \beta^2 + \beta + 1 = 0 \quad \dots\dots\textcircled{2}$$

が成り立つ.

このとき ①, ② により

$$\begin{aligned} & f(n+2) + f(n+1) + f(n) \\ &= \alpha^{n+2} + \beta^{n+2} + \alpha^{n+1} + \beta^{n+1} + \alpha^n + \beta^n \\ &= \alpha^n(\alpha^2 + \alpha + 1) + \beta^n(\beta^2 + \beta + 1) \\ &= \alpha^n \cdot 0 + \beta^n \cdot 0 = 0 \end{aligned}$$

よって, $f(n+2) + f(n+1) + f(n) = 0$ が成り立つ. ■

[II]

$$(1) \quad 2x+3 \geq 0 \text{ より } x \geq -\frac{3}{2}$$

$$\text{また } y = \sqrt{2x+3} \geq 0$$

$$y = \sqrt{2x+3} \text{ より } y^2 = 2x+3 \quad \therefore x = \frac{1}{2}(y^2-3)$$

よって、 $y = \sqrt{2x+3}$ の逆関数 $y = g(x)$ は

$$g(x) = \frac{1}{2}(x^2-3) \quad (x \geq 0)$$

(2) $y = \sqrt{2x+3}$ と $y = g(x)$ のグラフは $y = x$ に関して対称であり、グラフより交点はすべて $y = x$ 上にあるから、 $g(x) = x$ として

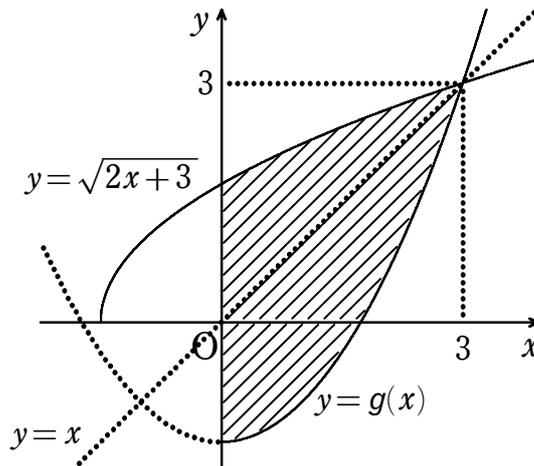
$$x^2 - 2x - 3 = 0$$

$$(x+1)(x-3) = 0 \quad \therefore x = -1, 3$$

$x \geq 0$ より、求める交点の座標は $(3, 3)$

(3) 求める面積は、右の図の斜線部分であるから

$$\begin{aligned} & \int_0^3 \left\{ \sqrt{2x+3} - \frac{1}{2}(x^2-3) \right\} dx \\ &= \left[\frac{1}{3}(2x+3)^{\frac{3}{2}} - \frac{1}{6}x^3 + \frac{3}{2}x \right]_0^3 \\ &= \frac{1}{3}(27-3\sqrt{3}) - \frac{9}{2} + \frac{9}{2} \\ &= 9 - \sqrt{3} \end{aligned}$$



別解 (2)は対称性を用いなくてもよい。

$y = \sqrt{2x+3}$ と $y = g(x)$ を連立させて

$$\sqrt{2x+3} = \frac{1}{2}(x^2-3) \quad \therefore 2\sqrt{2x+3} = (x^2-3) \quad \dots\dots ①$$

$x < \sqrt{3}$ のとき、①は成り立たないから、 $x \geq \sqrt{3}$ のとき、両辺を2乗すると

$$4(2x+3) = (x^2-3)^2$$

$$x^4 - 6x^2 - 8x - 3 = 0$$

$$(x+1)^3(x-3) = 0$$

$x \geq \sqrt{3}$ であるから $x = 3$

$$y = \sqrt{2x+3} \text{ より } y = \sqrt{2 \cdot 3 + 3} = 3$$

よって、求める交点の座標は $(3, 3)$

別解 終わり

[Ⅲ]

(1) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より $0 < \cos \theta < 1$ であるから、直線 AB の方程式は

$$y = \frac{\sin \theta - 0}{\cos \theta - (-1)}(x+1) \quad \therefore \quad y = \frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta}(x+1) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$x=0$ のとき $y = \frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta}$

よって、点 C の座標は $\left(0, \frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta}\right)$

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ のとき、 $\frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta} > 0$ であるから、

$$S(\theta) = \frac{1}{2} \cdot \frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta} \cdot \cos \theta = \frac{\sin \theta \cos \theta}{2(1 + \cos \theta)}$$

また、

$$\begin{aligned} S'(\theta) &= \frac{(\cos^2 \theta - \sin^2 \theta)(1 + \cos \theta) - \sin \theta \cos \theta (-\sin \theta)}{2(1 + \cos \theta)^2} \\ &= \frac{(2\cos^2 \theta - 1)(1 + \cos \theta) + (1 - \cos^2 \theta)\cos \theta}{2(1 + \cos \theta)^2} \\ &= \frac{(2\cos^2 \theta - 1)(1 + \cos \theta) + (1 - \cos \theta)(1 + \cos \theta)\cos \theta}{2(1 + \cos \theta)^2} \\ &= \frac{\cos^2 \theta + \cos \theta - 1}{2(1 + \cos \theta)} \end{aligned}$$

$S'(\theta) = 0$ のとき $\cos^2 \theta + \cos \theta - 1 = 0 \quad \therefore \quad \cos \theta = \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より $0 < \cos \theta < 1$ であるから $\cos \theta = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}$

これを満たす θ を α とすると、 $S(\theta)$ の $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ における増減は次のようになる。

θ	0	α	$\frac{\pi}{2}$
$S'(\theta)$		+	-
$S(\theta)$		↗	↘

$S(\theta)$ は $\theta = \alpha$ で最大値をとるから、そのときの $\cos \theta$ の値は

$$\cos \theta = \cos \alpha = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}$$

(2) 点 $P\left(0, -\frac{1}{2}\right)$ とおき, 点 P から直線 AB へ垂線 PH を下ろす.

円周角の定理により $\angle ABO = \frac{\theta}{2}$

$\triangle CBO \sim \triangle CPH$ より $\angle CPH = \angle CBO = \frac{\theta}{2}$

また $CP = CO + OP = \tan \frac{\theta}{2} + \frac{1}{2}$

よって, $\triangle CPH$ に注目すると

$$\begin{aligned} d = PH &= CP \cos \frac{\theta}{2} \\ &= \left(\tan \frac{\theta}{2} + \frac{1}{2} \right) \cos \frac{\theta}{2} = \frac{1}{2} \left(2 \sin \frac{\theta}{2} + \cos \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \left(2 \sin \frac{\theta}{2} + \cos \frac{\theta}{2} \right) = \frac{\sqrt{5}}{2} \sin \left(\frac{\theta}{2} + \beta \right) \end{aligned}$$

ただし β は, $\sin \beta = \frac{1}{\sqrt{5}}$, $\cos \beta = \frac{2}{\sqrt{5}}$, $0 < \beta < \frac{\pi}{2}$ を満たす.

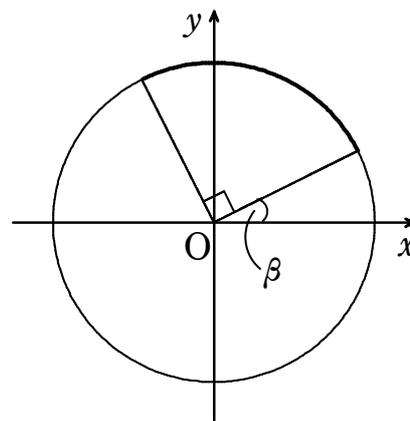
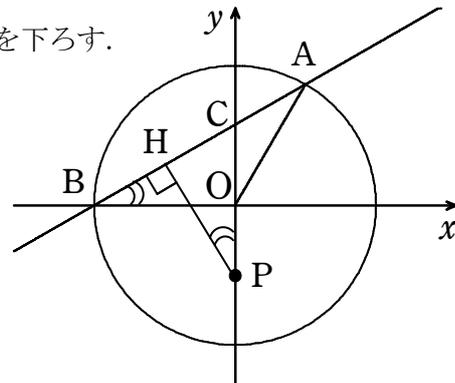
$0 < \theta < \pi$ より $\beta < \frac{\theta}{2} + \beta < \frac{\pi}{2} + \beta$

よって, $\frac{\theta}{2} + \beta = \frac{\pi}{2}$, すなわち $\theta = \pi - 2\beta$ のとき,

d は最大値 $\frac{\sqrt{5}}{2}$ をとる.

また, このとき

$$\begin{aligned} \cos \theta &= \cos(\pi - 2\beta) = -\cos 2\beta \\ &= 2\sin^2 \beta - 1 = 2 \cdot \frac{1}{5} - 1 = -\frac{3}{5} \end{aligned}$$



別解1 (2)の d は, 点と直線の距離の公式で求めてもよい.

①より, 直線 AB の方程式は $(\sin \theta)x - (1 + \cos \theta)y + \sin \theta = 0$

点 $\left(0, -\frac{1}{2}\right)$ と直線 AB の距離を d とすると

$$d = \frac{\left| \frac{1}{2}(1 + \cos \theta) + \sin \theta \right|}{\sqrt{\sin^2 \theta + (1 + \cos \theta)^2}} = \frac{|2\sin \theta + \cos \theta + 1|}{2\sqrt{2(1 + \cos \theta)}}$$

$0 < \theta < \pi$ より $\sin \theta > 0$, $1 + \cos \theta > 0$

また, $0 < \frac{\theta}{2} < \frac{\pi}{2}$ より $\sin \frac{\theta}{2} > 0$

$$d = \frac{2\sin \theta + \cos \theta + 1}{2\sqrt{2(1 + \cos \theta)}} = \frac{4\sin \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2} + 2\cos^2 \frac{\theta}{2}}{2\sqrt{4\cos^2 \frac{\theta}{2}}} = \frac{1}{2} \left(2\sin \frac{\theta}{2} + \cos \frac{\theta}{2} \right)$$

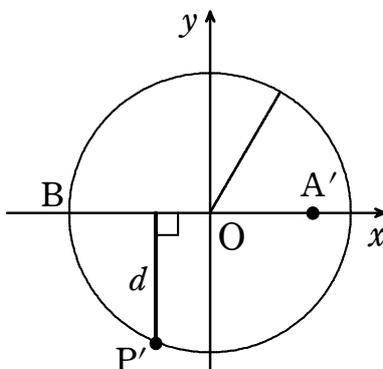
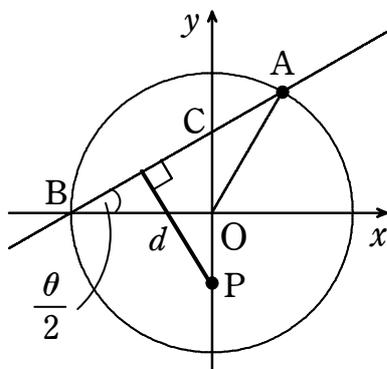
(以下, 本解同様)

別解1 終わり

別解2 (2)の d は、回転移動（複素数平面）を利用して求めてもよい。

点 $P\left(0, -\frac{1}{2}\right)$ とおく。

円周角の定理により、 $\angle ABO = \frac{\theta}{2}$ であるから、点 A, P を B を中心に $-\frac{\theta}{2}$ だけ回転させた点を A', P' とすると、直線 AB' は x 軸に重なるから、 d は点 P' と x 軸との距離に等しい。



$P'(a, b)$ とすると、

$$(a + bi) - (-1) = \left\{ -\frac{1}{2}i - (-1) \right\} \left\{ \cos\left(-\frac{\theta}{2}\right) + i\sin\left(-\frac{\theta}{2}\right) \right\}$$

$$\begin{aligned} a + bi &= \left(1 - \frac{i}{2}\right) \left(\cos\frac{\theta}{2} - i\sin\frac{\theta}{2}\right) - 1 \\ &= \cos\frac{\theta}{2} - \frac{1}{2}\sin\frac{\theta}{2} - 1 + i\left(-\sin\frac{\theta}{2} - \frac{1}{2}\cos\frac{\theta}{2}\right) \end{aligned}$$

$$\therefore a = \cos\frac{\theta}{2} - \frac{1}{2}\sin\frac{\theta}{2} - 1, \quad b = -\sin\frac{\theta}{2} - \frac{1}{2}\cos\frac{\theta}{2}$$

$$\text{よって } d = \left| -\sin\frac{\theta}{2} - \frac{1}{2}\cos\frac{\theta}{2} \right| = \frac{1}{2} \left| 2\sin\frac{\theta}{2} + \cos\frac{\theta}{2} \right|$$

$$0 < \theta < \pi \text{ より } 0 < \theta < \frac{\pi}{2} \text{ であるから } \sin\frac{\theta}{2} > 0, \cos\frac{\theta}{2} > 0$$

$$\text{したがって } d = \frac{1}{2} \left(2\sin\frac{\theta}{2} + \cos\frac{\theta}{2} \right)$$

別解2 終わり